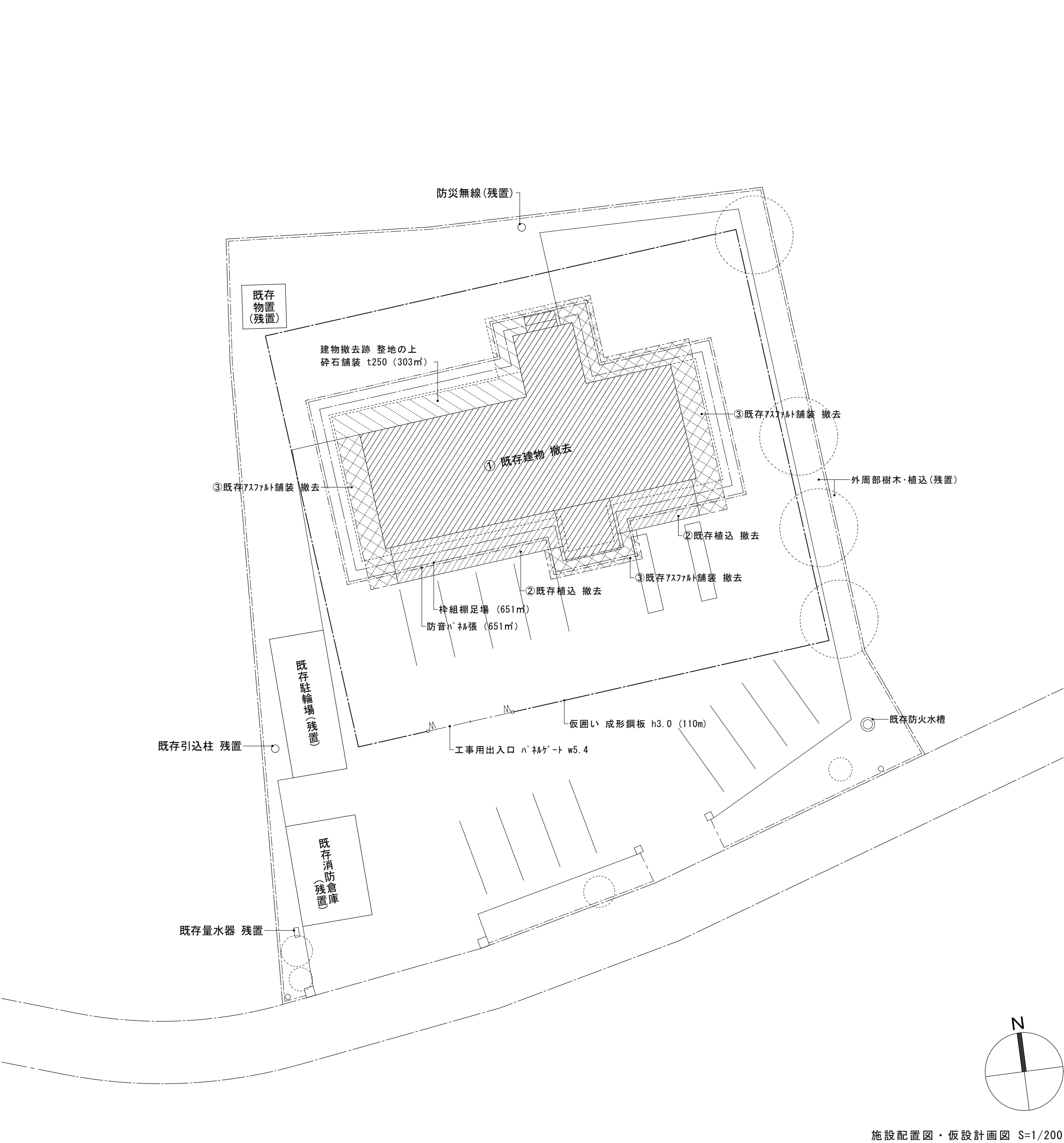


旧中山公民館解体工事

K O O 1	特記仕様書・解体計画図	1/200
K O O 2	既存施設参考図(1)	1/30, 100
K O O 3	既存施設参考図(2)	1/30, 100



施設配置図・仮設計画図 S=1/200

工事概要

1. 工事名称 旧中山公民館解体工事
2. 工事種別 解体
3. 工事場所 川島町大字中山 地内
4. 構造規模 RC造 2階建 366.0 m² (1F:160.4 m² 2F:205.6 m²)
5. 竣工年度 1972年 (S47年)2月 (推定)

※: 既存建物アスベスト調査 2025年8月 実施。

特記仕様書

1. 一般事項

- 1-1. 工事履行義務
工事請負者は特記仕様書、設計図面等に基づき、必要十分な労力及び機器、設備、事務等を提供して入念、誠実に施工し、工事を完了させる。監督員の指示がない限り、設計図面を変更することは出来ない。設計図面の記載に疑義が生じた場合は監督員と協議の上指示を受ける。設計図面に記載のない事項であっても、工事完遂するにあたり当然必要なものは、工事請負者の負担によりこれを施工する。
- 本特記仕様書及び設計図面に記載されていない事項は下記の共通仕様書による。
- ・建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (令和4年版)

1-2. 官公庁への手続き

工事請負者は工事に必要な官公署その他への手続きを延滞なく行い、法令に関しではその責任を負う。また必要な諸手続きにかかる費用は全て工事請負者の負担とする。

1-3. 軽微な変更

工事の納まり、取合い等の関係で軽微な変更が生じる場合は、監督員との協議による。変更が軽微であるか否かの判断は、協議の上監督員が行う。また変更に伴う金額の算定は設計内訳書単価に基づき行なう。軽微な変更による工事金額の変更及び工期の変更は行わない。

1-4. 関連工事との調整

工事請負者は別契約の関連工事請負者との連絡打合せを十分に行い、円滑な工事の進捗を図る。また監督員による各工事間の調整に対して、速やかに協力にする。

2. 工事現場管理等

2-1. 施工体制

工事請負者は、工事請負契約書に基づく現場代理人等の職員を現場に常駐させ、工事に関する全ての業務ならびに監督員の指示による必要な業務、手続き等を処理し、かつ工事現場及び作業所内外の安全管理にあたる。

2-2. 工事現場の災害防止及び保全

工事請負者は工事期間中及び正式な引渡しを終えるまで、火災、水害、その他のあらゆる災害に対して工事現場及び付随する財産、ならびに人員の保護についての責任を負う。また工事現場及び作業所内の管理は、労働基準法、労働安全衛生法、その他関連法令に従い、災害及び事故等の防止と環境の保全に努める。

2-3. 公害等の防止

工事請負者は工事期間中を通し、近隣への騒音、振動、塵埃の飛散及び周辺道路の汚損等に対し十分な配慮を行なう。第三者から苦情等が生じた場合は監督員に報告し、工事請負者の責任において速やかに対処する。

2-4. 損害賠償

工事請負者は、本工事により発注者及び第三者に対して損害または損傷を与えた場合、工事請負者の負担でこれを補償する。また工事完了後であっても、本工事の影響によるものと明らかに判断できる損害または損傷については、工事請負者が速やかに対処しなければならない。

3. 施工管理等

3-1. 工程

工事請負者は工事着手に先立ち詳細な実施工程表及び必要な部分工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。工程表に基づく工事進捗の責任は工事請負者が負う。

3-2. 施工計画書、施工図等

工事請負者は施工に先立ち、監督員の指示により必要な施工計画書、施工図等を提出し、監督員の承諾を受ける。施工計画書、施工図等の作成にあっては、関係法令、別契約の関連工事、その他の諸条件等について十分な調査を行い、不都合のないように努める。

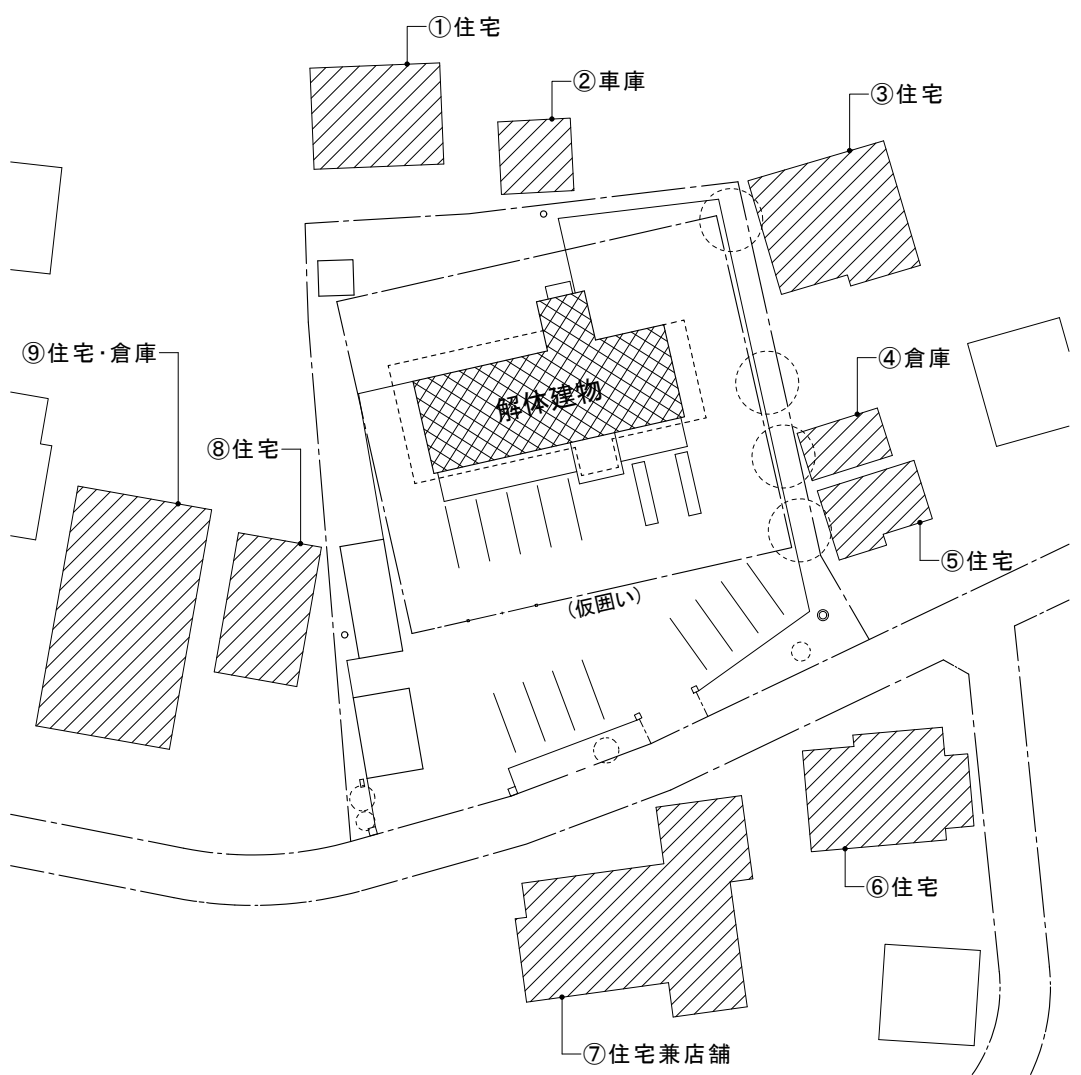
3-3. 工事記録写真

工事請負者は工事着手前の現況も含む、工事着手から完了にいたるまでの各工事工程毎、各施設毎に工事記録写真を撮影する。記録写真は施工状況を説明するに十分なものとし、特に施工完了後に隠れてしまう工程、工程等については必ず撮影して記録を残す。工事記録写真はファイルに整理し、工事完了後 1 部提出する。

4. 仮設工事

4-1. 仮囲い等

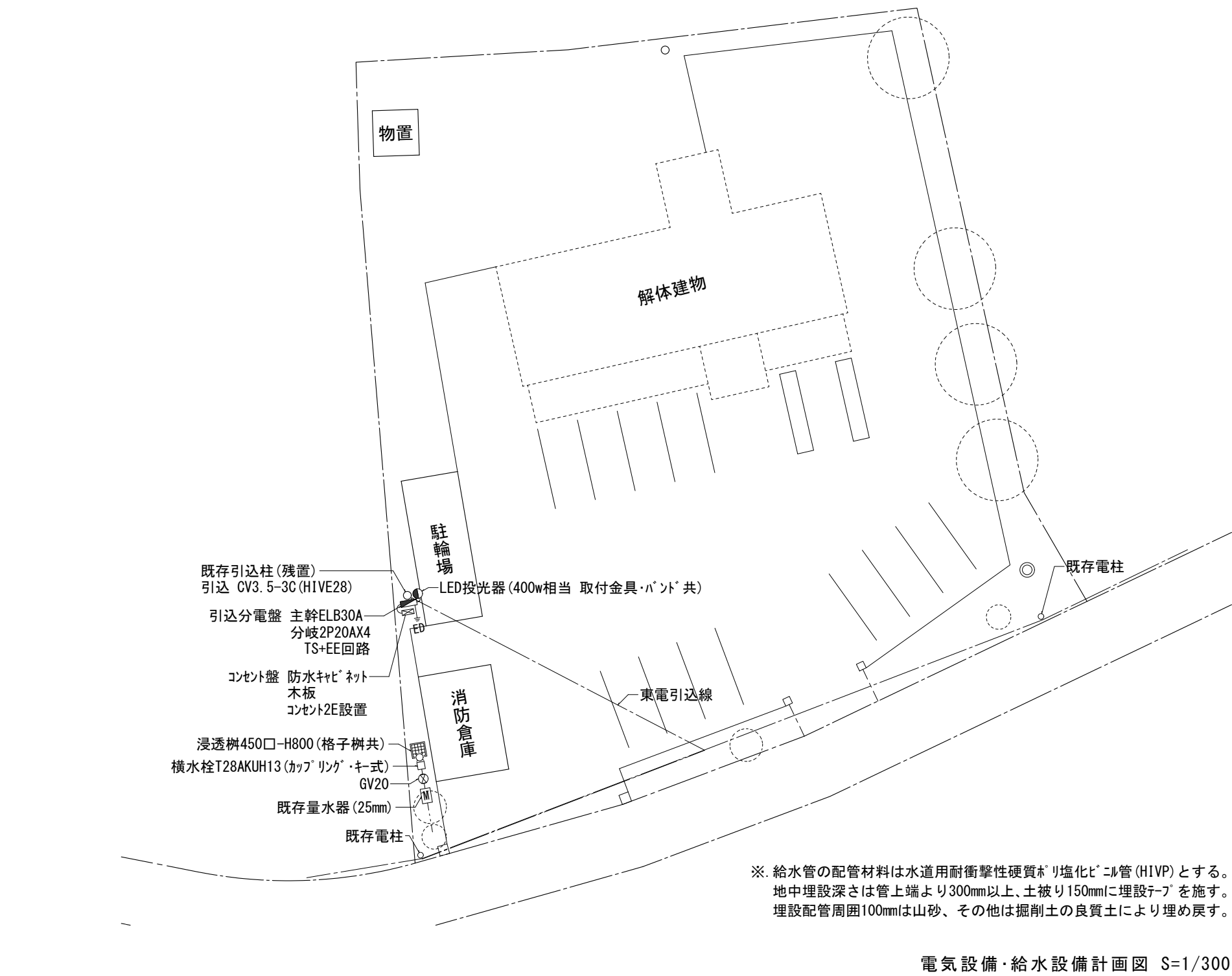
工事請負者は入念な現地調査及び施工計画のもとに仮設計画書を作成し、工事現場内外の安全及び適切な作業用地、搬入経路を確保するに十分な仮設安全設備を設ける。



家屋調査対象図 S=1/600

家屋調査リスト			
記号	名 称	構造・規模 (参考)	備 考
①	住宅	W造 2階建 約160㎡	
②	車庫	S造 1階建 約 30㎡	
③	住宅	S造 2階建 約210㎡	
④	倉庫	W造 1階建 約 25㎡	
⑤	住宅	W造 2階建 約 75㎡	
⑥	住宅	W造 2階建 約140㎡	
⑦	住宅兼店舗	W造 2階建 約260㎡	
⑧	住宅	W造 2階建 約125㎡	
⑨	住宅・倉庫	W造 2階建 約250㎡	

※: 家屋調査は事前・事後調査とし、報告書を提出する。



※: 給水管の配管材料は水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) とする。地中埋設深さは管上端より300mm以上、土被り150mmに埋設テープを施す。埋設配管周囲100mmは山砂。その他は掘削土の良質土により埋め戻す。

電気設備・給水設備計画図 S=1/300

既存施設 解体撤去リスト			
記号	名 称	規格・数量 (参考)	備 考
①	既存建物	RC造 2階建 366.0㎡	解体撤去処分
②	既存7777t舗装	55.3㎡ (カッター入46.3㎡)	解体撤去処分
③	既存植込	緑石・植栽共 38.0㎡	解体撤去処分
		※既存植込み植栽: h2.0×3本, h1.2×7本, h0.6×5本, 他雑草程度。	
④	残置備品	残置備品リスト参照	撤去処分

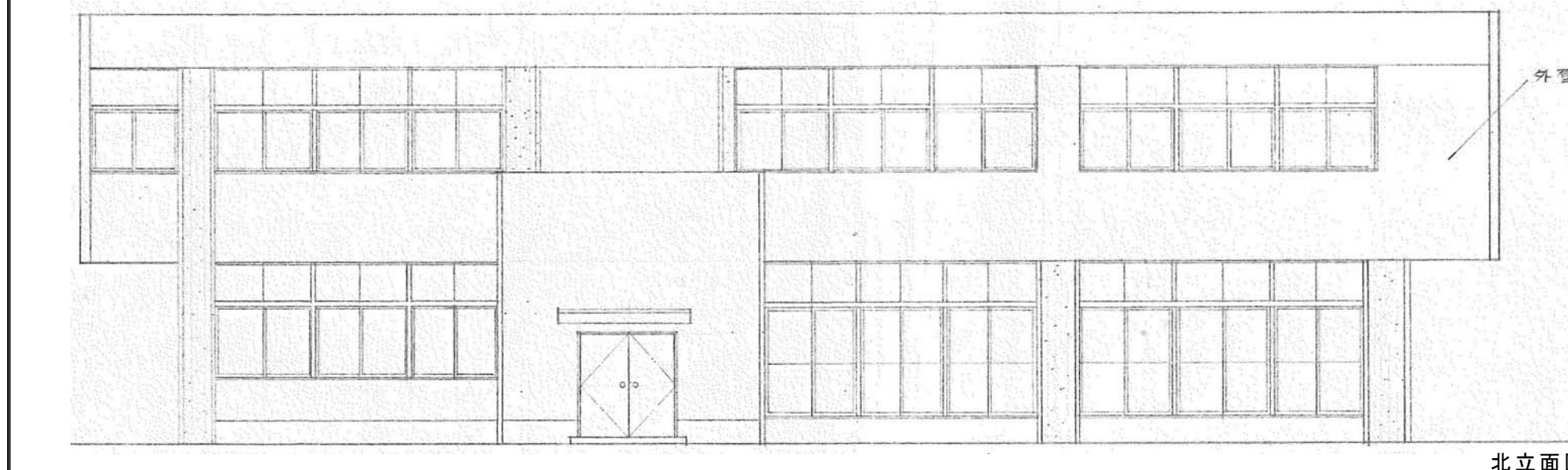
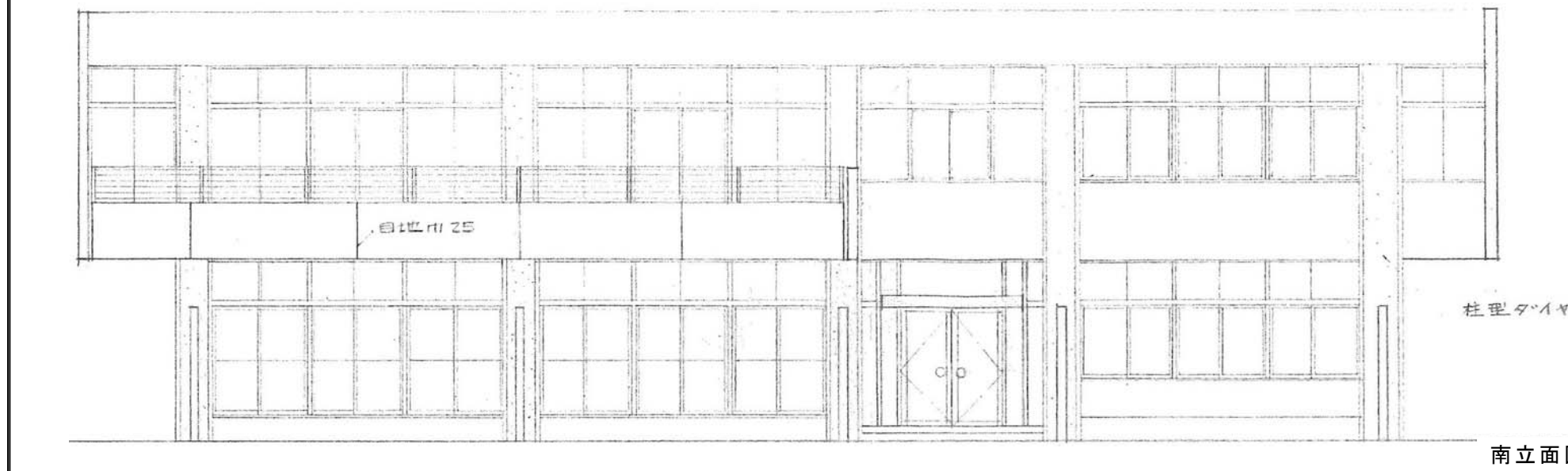
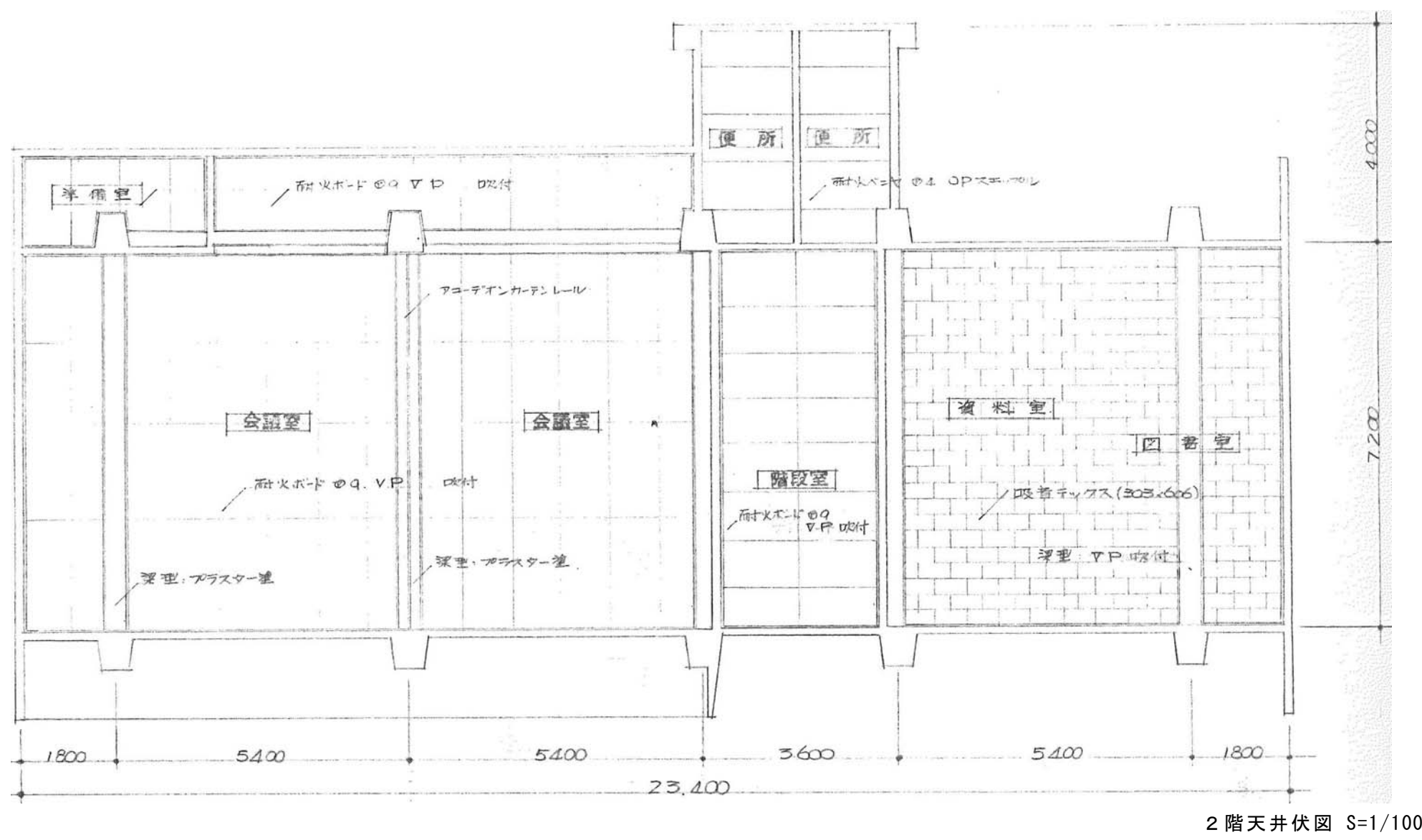
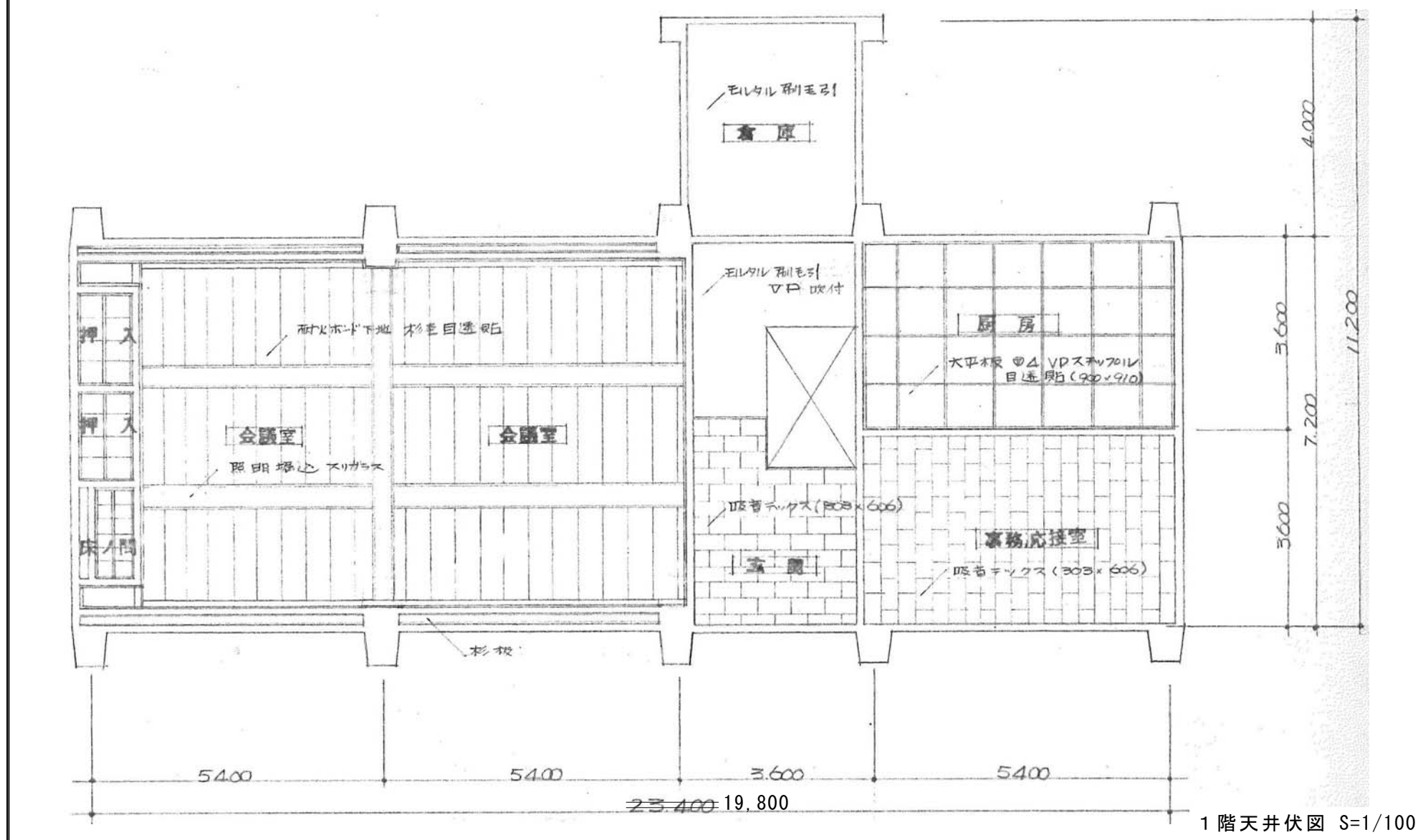
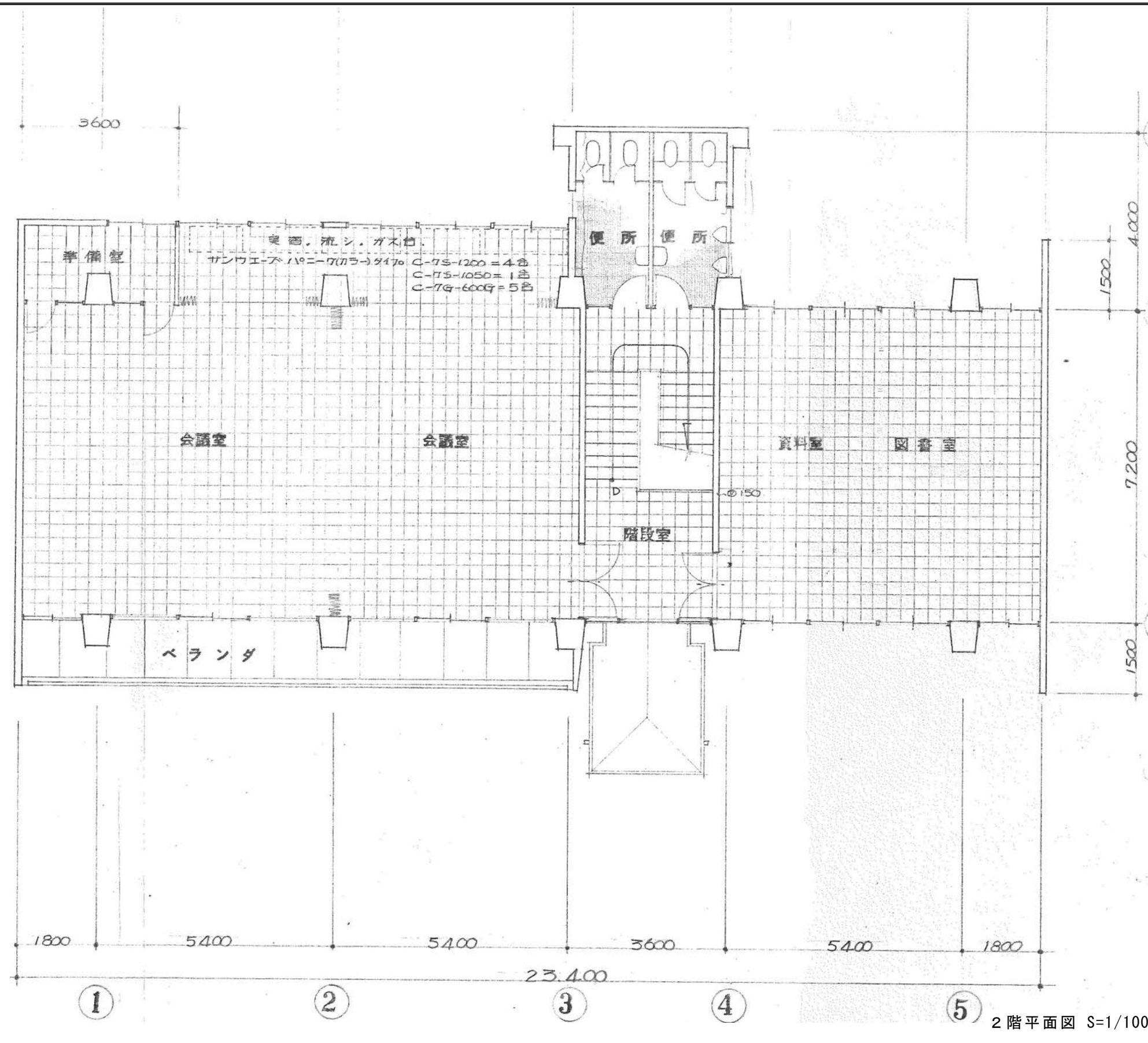
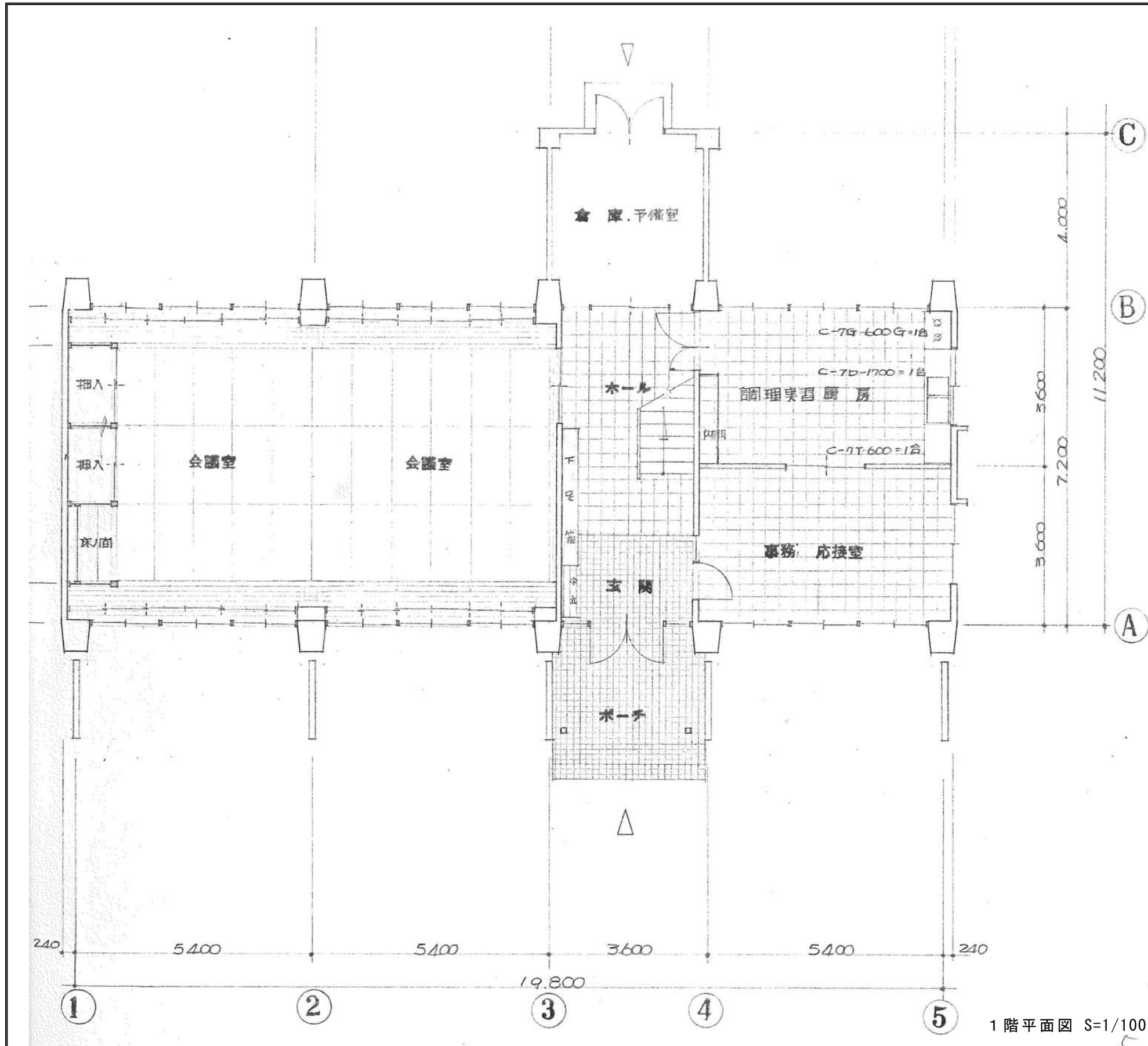
※: 既存杭 (PC杭 φ300×L16.0m 42本) は中空部再生砂充填処理の上、残置とする。残置の状況 (概略位置・天端レベル、記録写真) を報告書にまとめ、提出する。
※: 場内の既存消防倉庫、既存駐輪場、既存物置、引込柱、防災無線柱、敷地外周植込は存置とする。

アスベスト含有建材リスト				
番号	含 有 建 材	使用箇所	参 考 数 量	備 考
	床 Pタイル	1F 事務応接室	20.5 m ²	いゝB3
	床 タイル	1.2F トイレ	12.6 m ²	いゝB3
	壁 タイル	1.2F トイレ	24.0 m ²	いゝB3
	天井 大平板	1F 調理実習室	19.4 m ²	いゝB3
	天井 吸音板	2F 図書室、資料室	39.3 m ²	いゝB3
	床 タイル	1F 玄関、ポーチ	13.5 m ²	みなし処理
	床 長尺シート	1F 玄関	5.7 m ²	みなし処理
	巾木 タイル	1F 玄関	0.7 m ²	みなし処理
	壁 プラスター塗	1.2F トイレ	22.1 m ²	みなし処理
	天井 V口吹付	1F ホール (階段裏)	16.5 m ²	みなし処理
	壁 シーリング	2F 会議室 (流し周囲)	10.2 m ²	みなし処理
	外部 シーリング	外壁 サッシ廻り	251 m	みなし処理
	外部 シーリング	外壁 配管廻り	10.8 m	みなし処理
	外部 コーキング	屋上 防水立上り端部	73.4 m	みなし処理
	外部 塗材	屋上 笠木	4.7 m ²	みなし処理

※: アスベスト含有建材の扱い
アスベスト含有建材の除去及び処分は、大気汚染防止法、労働安全衛生法、その他関係法令等に基づき必要な手続きを行った上で、各規定を遵守して適切に処理する。

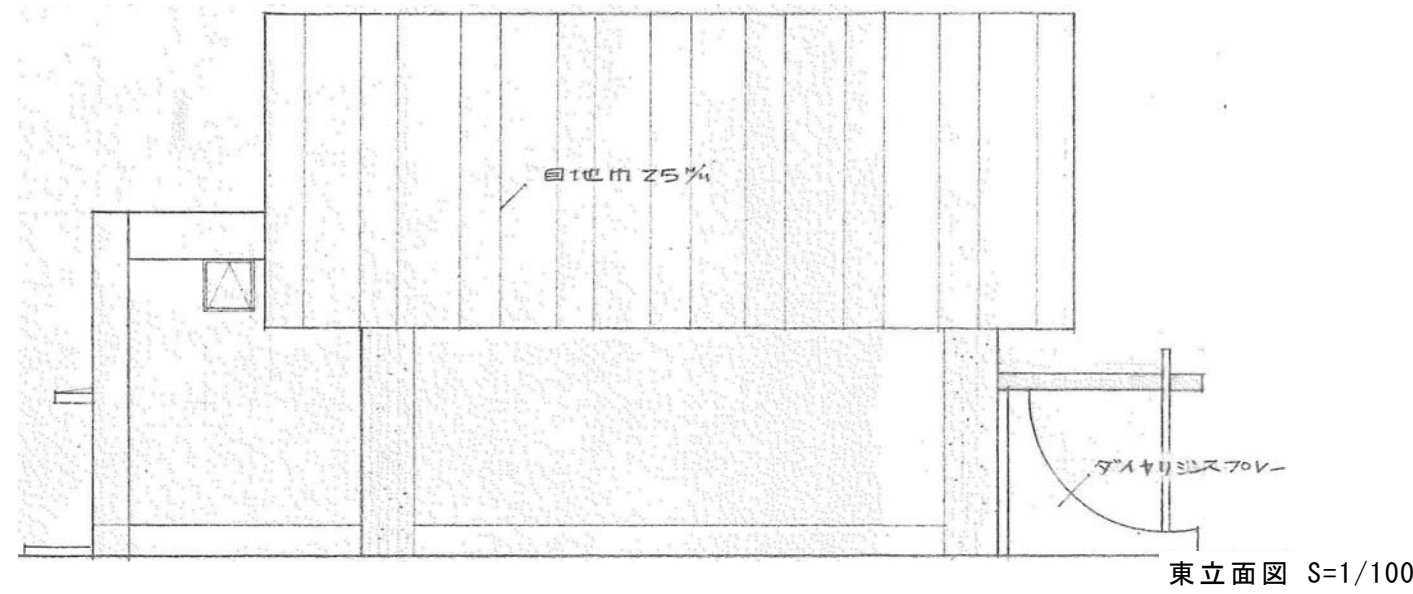
残置備品リスト			
番号	名 称	仕 様・寸 法	数 量
	(1 階 玄関)		
	折りたたみ机	1,800×450	8台
	折りたたみ椅子		12脚
	教卓	900×450×h900	1台
	(1 階 事務室)		
	テーブル	1,800×900×h700	2台
	事務机	1,000×700×h700	1台
	スチールキャビネット	900×500×h1,800	3台
	折りたたみ椅子		12脚
	ラウンジ椅子		3脚
	(1 階 調理実習室)		
	折たたみ机	1,800×600×h700	2台
	テーブル	900×600×h700	1台
	スチール棚	900×450×h1,800	3台
	椅子		3脚
	スタッキング丸椅子		50脚
	冷蔵庫	600×600×h1,800	2台
	(1 階 和室)		
	折たたみ机	1,800×450×h330	12台
	(2 階 会議室)		
	折りたたみ机	1,800×450×h700	25台
	スタッキングテーブル	1,800×450×h700	15台
	折りたたみパイプ椅子		85脚
	スタッキング椅子	1,800×450	30脚
	ホワイトボード	1,800×450×h1,800	2台

K001	旧 中 山 公 民 館 解 体 工 事		
	特 記 仕 様 書・解 体 計 画 図		
	S=1/200	25/11/28	/ 宮地
	川 島 町 大 宇 根 建 築 設 計 事 務 所		

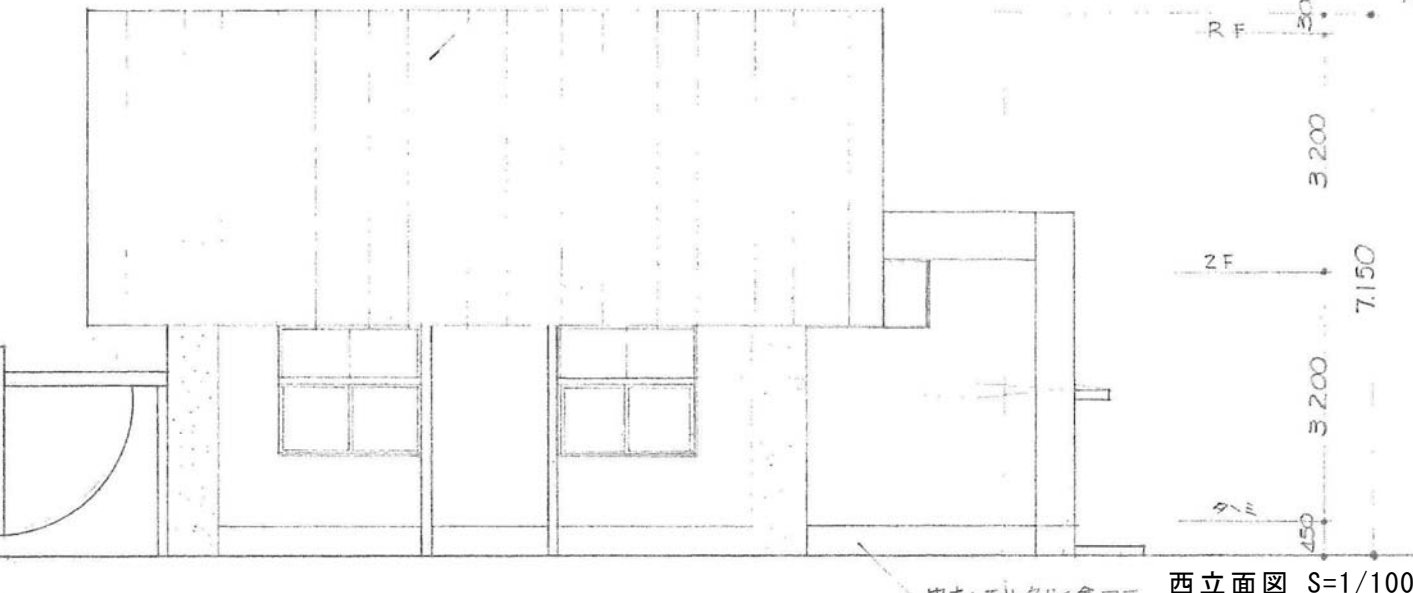


南立面図 S=1/100

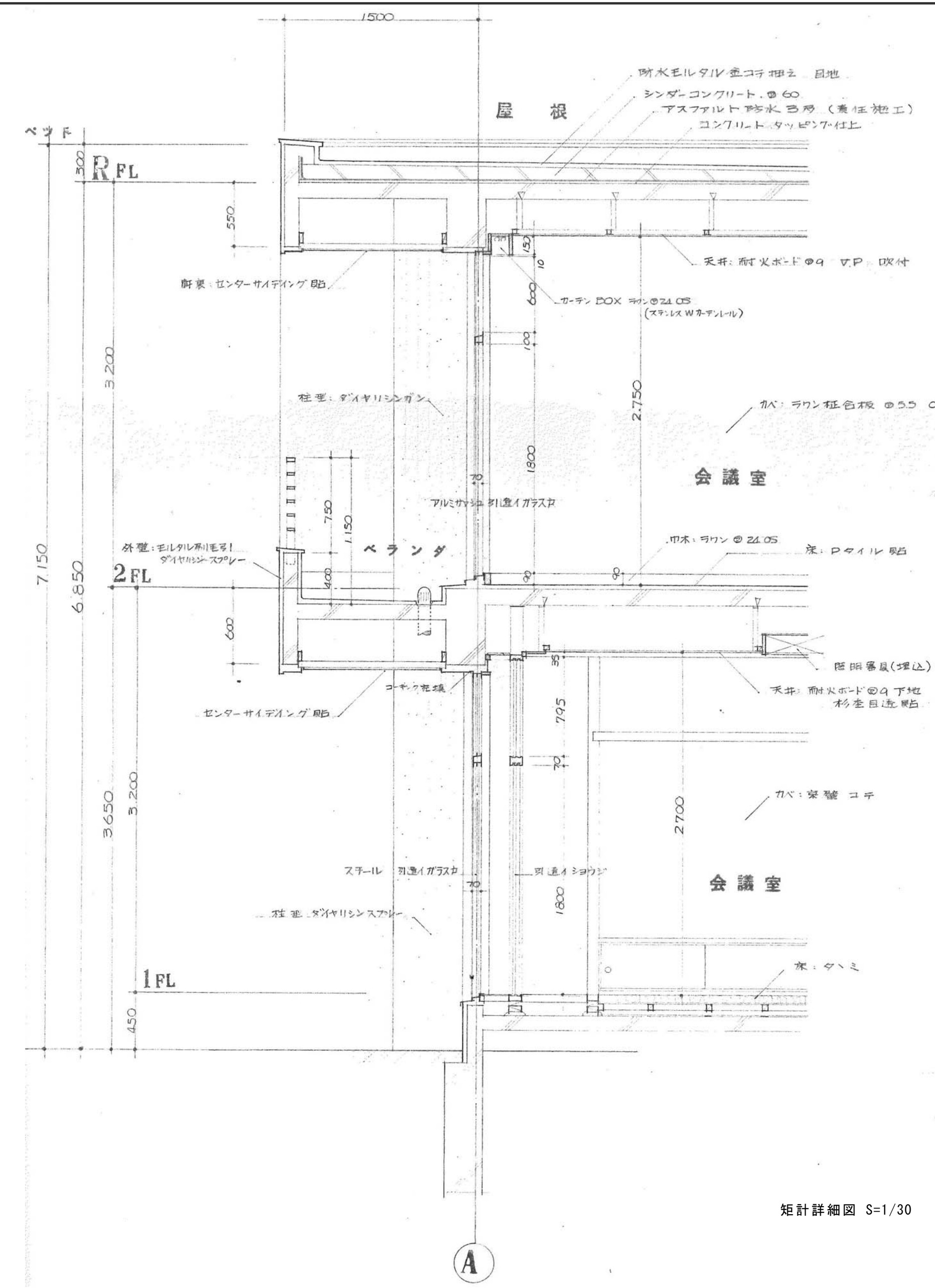
北立面図 S=1/100



東立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100



矩計詳細図 S=1/30

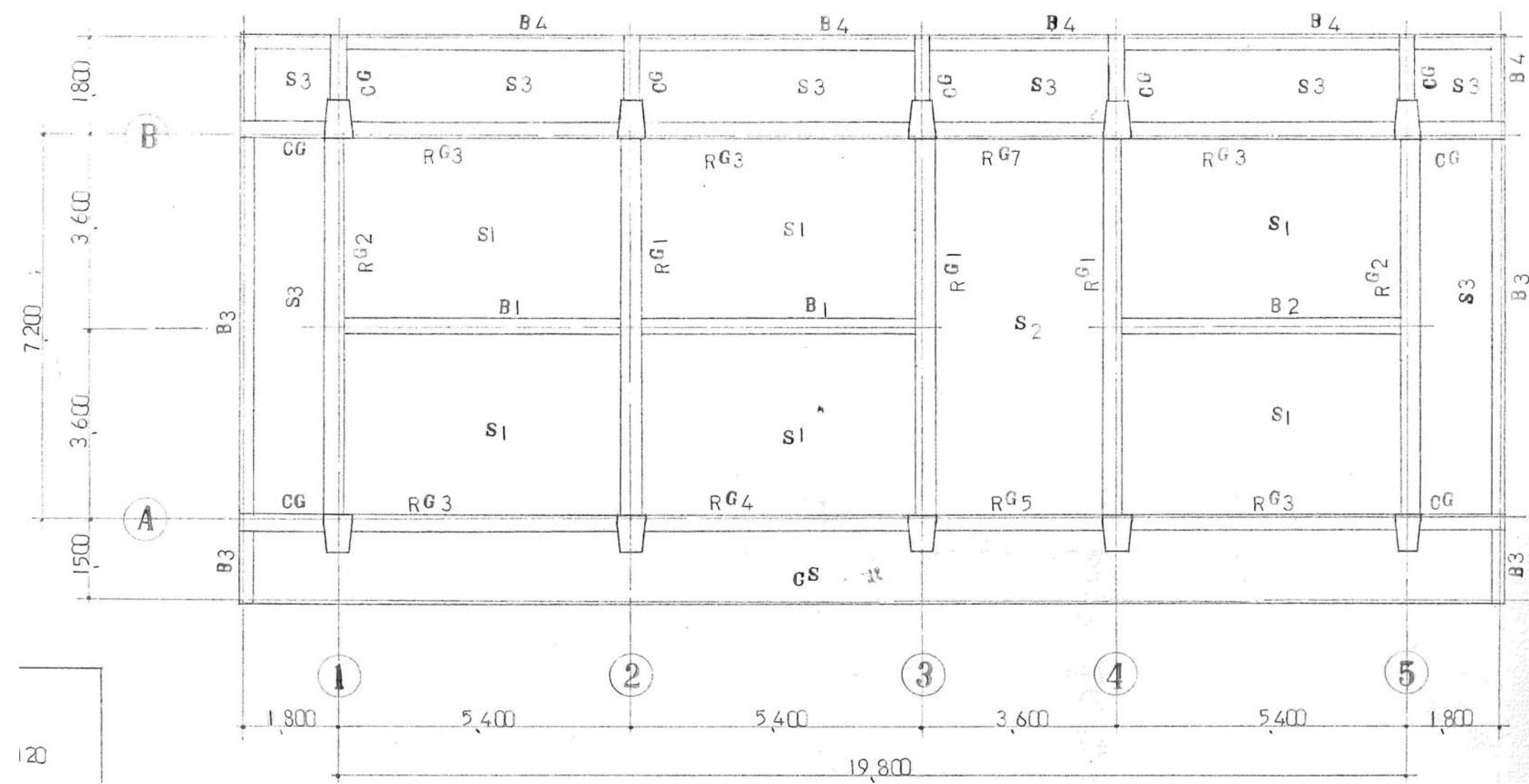
外部仕上表				
外 壁	ポ ー チ	屋 根	バルコニー	庇
巾木：杉材金付押え H=400 壁：杉材刷毛引付 イヤシシ 吹付 (化粧目地)	床：クシカキ体貼 (150x150) 柱：角バ イ 100x100 OP 屋根：垂鉛鉄板平葺	アスファルト防水(3層)の上。 シタココンクリート防水杉材金付押え (化粧目地)	床：杉材防水金付目地切 巾木：同上 手摺：杉材角バ イ OP	鼻：杉材刷毛引付 イヤシシ 吹付 下端：杉材イヤシシ 吹付

内部仕上表						
室 名	床	巾 木	壁	天 井	鉄木部	備 考
玄 関	クシカキ体貼 (150x150)	クシカキ体貼 (150x150)	杉材刷毛引 VP 吹付	吸音タタ貼 (303x606)	OP	傘立、下足箱
ホ ー ル	タタ貼	杉 OS (H=70)	杉材刷毛引 VP 吹付	階段裏：杉材刷毛引 VP 吹付	OP	
会 議 室	畳	畳寄	京壁	耐火バ イ ⑦ 9 杉並目透貼 幅450		床ノ間
事務応接室	タタ貼	杉 OS (H=70)	杉材刷毛引 VP 吹付	吸音タタ貼 (303x606)	OS	
厨房 調理実習	タタ貼	杉 OS (H=70)	杉材金付 VP	大平板 ⑦ 4 目透貼 VP スチツ ル		流し水、戸棚
倉 庫	杉材金付押	杉材金付 (H=100)	杉材刷毛引	杉材刷毛引		
押 入	ベニヤ貼 (T. II)	雑布摺	フタサ 塗	ベニヤ貼 ⑦ 2.7		天袋
階 段 室	タタ貼	杉材金付 VP (H=70)	杉材刷毛引 VP 吹付	耐火バ イ 下地 VP 吹付	OP	手摺：積層材 60φ
会 議 室	タタ貼	杉 OP (H=70)	タタ板合板 ⑦ 6mm CR	耐火バ イ 下地 VP 吹付	CR	流し水
準 備 室	タタ貼	杉 OP (H=70)	杉材刷毛引 VP 吹付	耐火バ イ 下地 VP 吹付	OS	
資料室 図書室	タタ貼	杉 OP (H=70)	杉材刷毛引 VP 吹付	吸音タタ貼 (303x606)	OS	
男 便 所	25角タタ ⑦ 4 体貼		36角色タタ貼 (H=11枚)	フタサ 塗		OP 5φ 巾金具一式、手洗場
女 便 所	25角タタ ⑦ 4 体貼		36角色タタ貼 (H=11枚)	フタサ 塗		OP 5φ 巾金具一式、手洗場

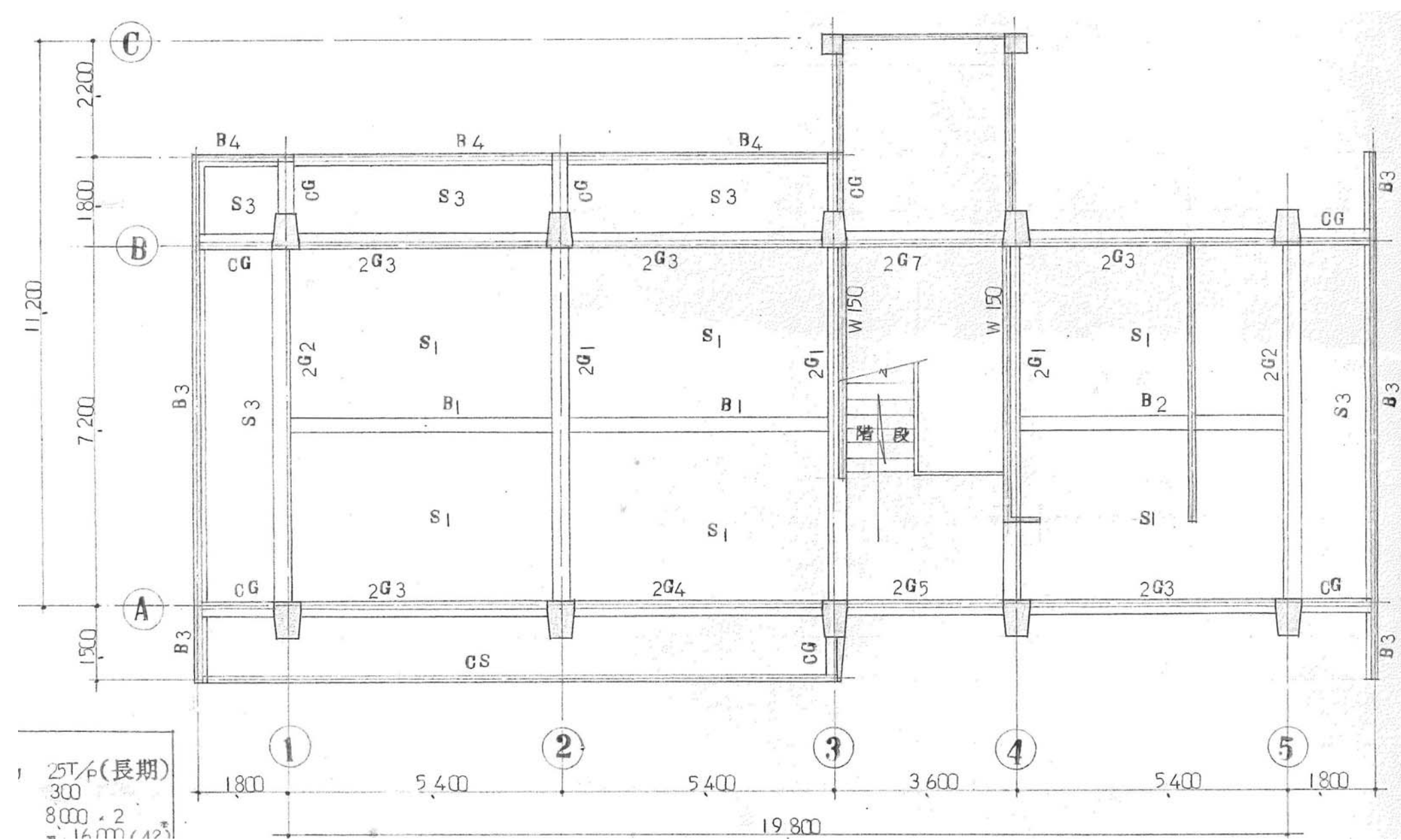
※720(冷媒回収処分)：3.6kw相当(9'4xR36CVV)×1台(1F事務応接室)、14.0kw相当(9'4xR2Y140AA)×2台(1F会議室、2F会議室)。

	旧中山公民館解体工事		
	既存施設参考図（１）		
K002	S=1/30, 100	25/11/28	/ 宮地
	川島町 大宇根建築設計事務所		

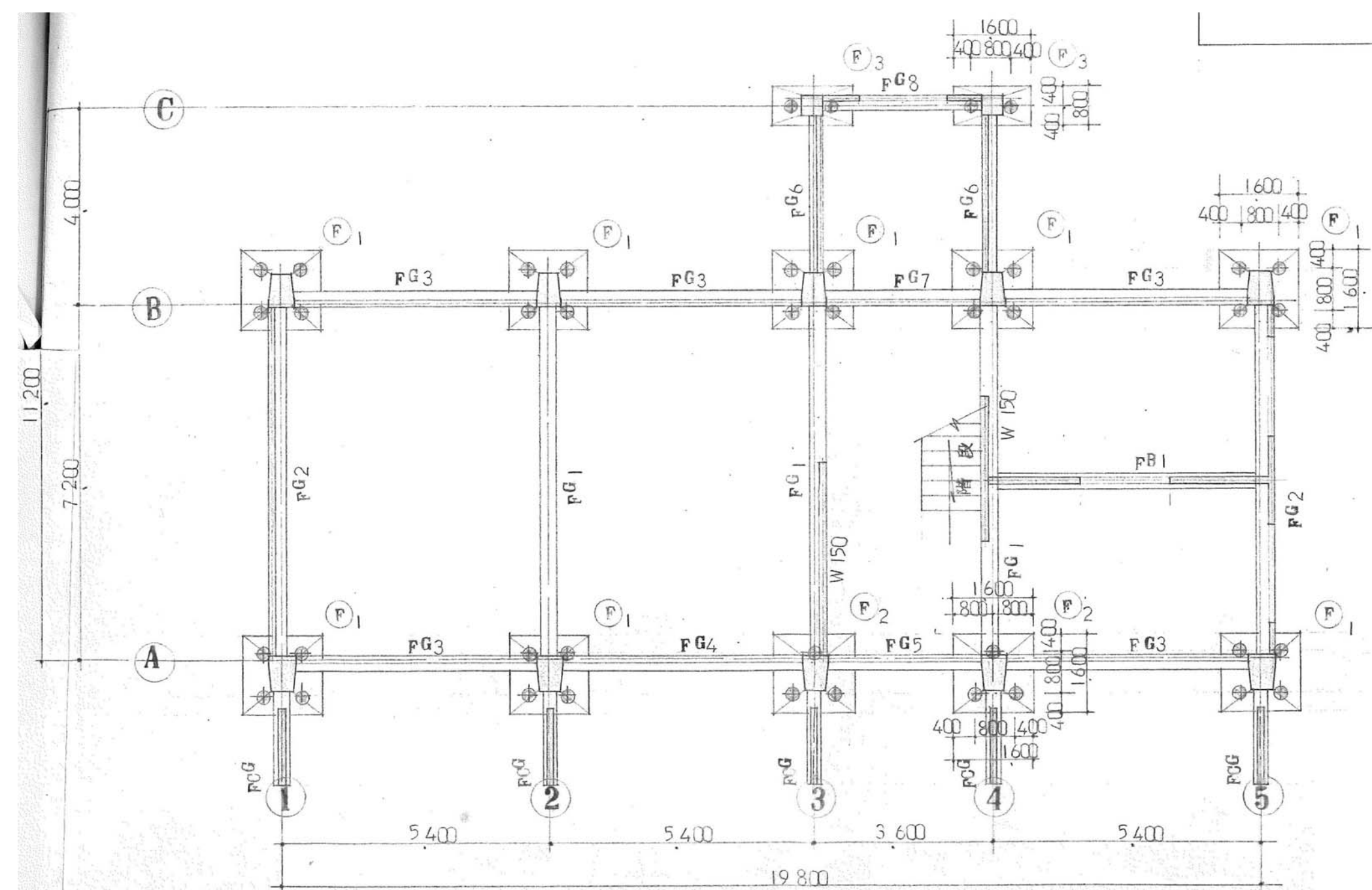
K002



基礎伏図 S=1/100

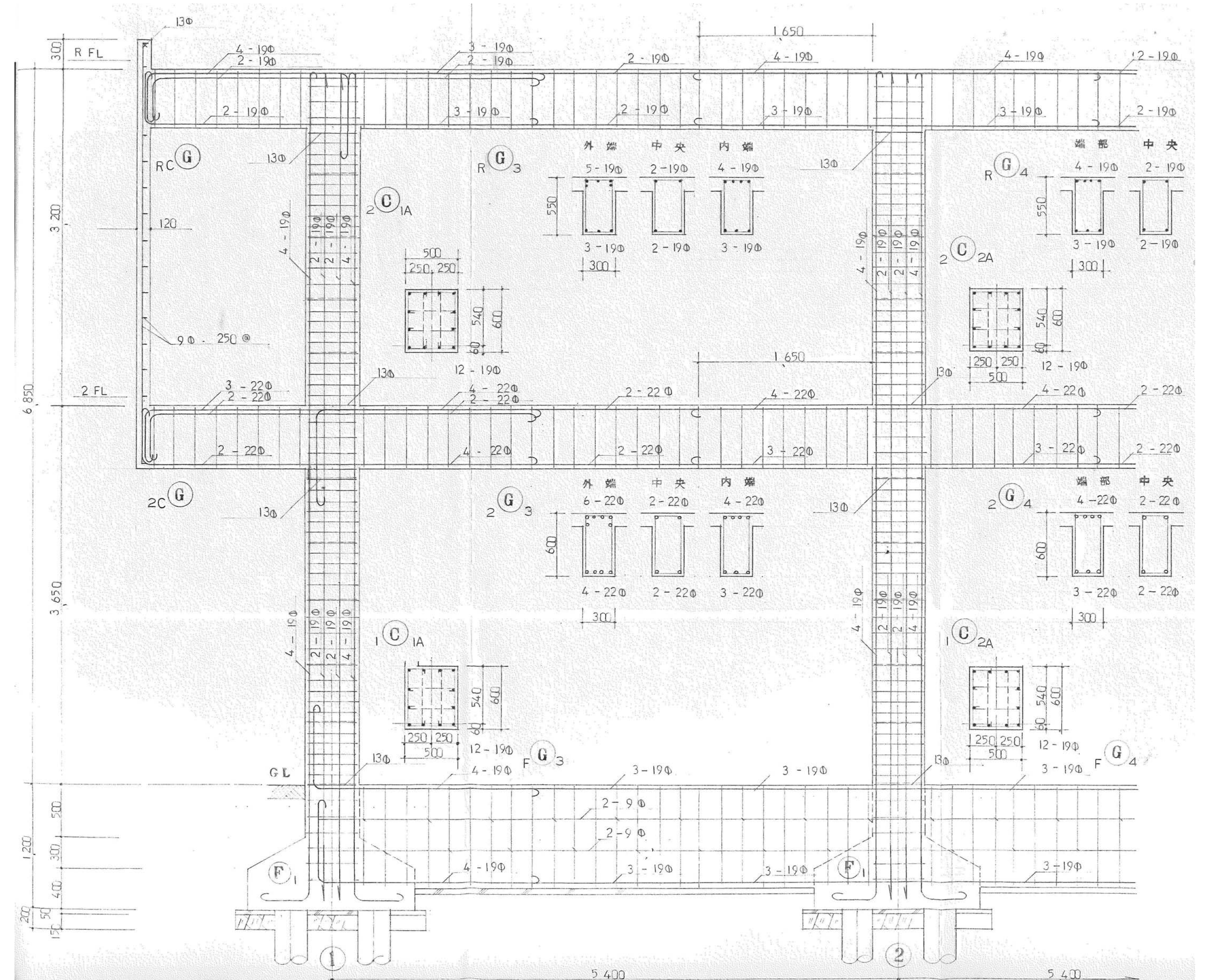


2階梁伏図 S=1/100

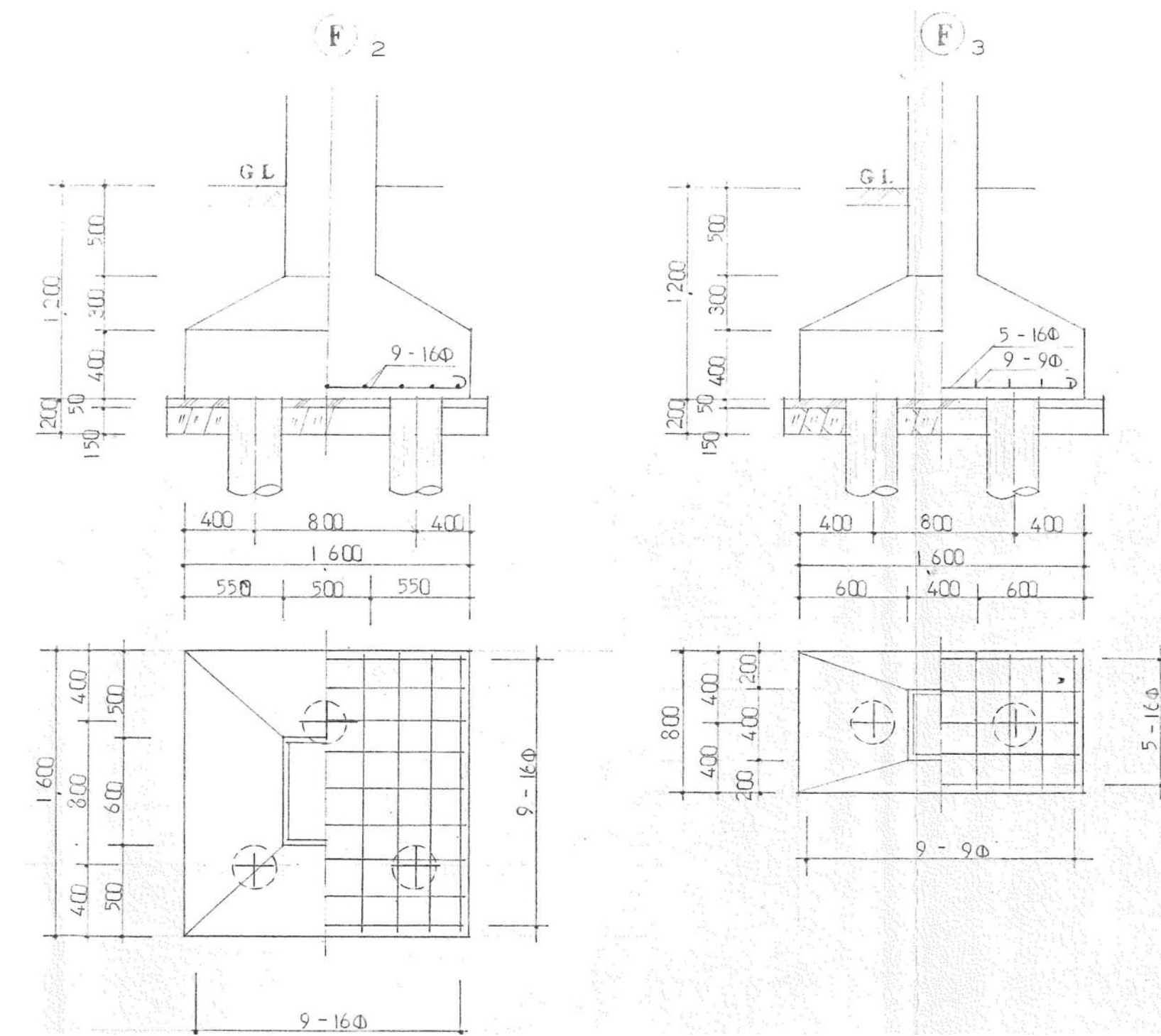


R階梁伏図 S=1/100

杭：PC杭 φ300×L16m(8m+8m)
×42本



構造詳細図 S=1/30



基礎リサ S=1/30

K003	旧中山公民館解体工事		
	既存施設参考図(2)		
	S=1/30, 100	25/11/28	/ 宮地
	川島町 大宇根建築設計事務所		